

主な記事

- 日置市総合防災訓練 2
- 伊集院ドーム・多目的広場・サッカー場完成 4
- まちの話題 8
- 市民の広場 18

HIOKI-City <http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

ひびき

HIOKI JOURNAL SEP.2006



鹿児島県日置市

市の人口(住民基本台帳)

総人口	52,998人	(5)
男	24,765人	(19)
女	28,233人	(14)
世帯数	22,332	(0)
9月1日現在()は前月比		
市の面積	253.05km ²	

北湯之元自治会は、吹上地域の中心部の伊作地区を形成する十七自治会の一つ。湯之浦川が流れる吹上温泉街の北側に位置し、百八世帯、二百五十一人が暮らしています。地域を代表する伝統行事「六月燈」は毎年七月に行われ、「花ツル」や「スカシツル」など華やかな灯籠見物に、多くの人でにぎわいます。



会長 下村 俊治さん

わが地域

北湯之元自治会(吹上地域)
地域活動を通じ、世代間交流を促進

全 員参加。何事にも地域一体となって取り組むようになっています。一年の活動を計画的に実施するため、毎月定例の「評議委員会」で、前月の反省と翌月の活動準備を話し合います。この話し合いがとても重要で、自治会長が単独で行動するのではなく、役員全員で活動する意識が生まれ、自治会行事への住民参加の協力体制ができました。



▲ 青壮年会主催のおんなん講

今月の紙



吉利南区の太鼓踊りは勇壮活発で激しくリズムカナルな踊りとして、引き継がれてきています。(P13関連記事 日吉地域)

六 月燈は、自治会の伝統行事の一つで、子ども会、学生会、青壮年会、婦人部、実年會が中心となって、灯籠(ツル)作りなどの準備から当日の運営まで積極的に参加。地域の「和」をつくる住民交流の良い機会となっております。また、今年の十一月には四年ぶりに青壮年會が主催する「おんなん講(男性が女装して女性をもてなす習わし)」も行われます。

地 域の高齢化も進み、七十歳以上の割合が約二十五割。地域内にある福祉施設と連携しながら健康づくりや交流活動を積極的に進めています。また、高齢者保護も大切と考え、「火災報知器設置」にあたっては、自治会内で設置契約をとりまとめ、被害防止に努めました。

健

全自治会運営のためには、住民が協力し合うことが一番大事です。自治会としても受け入れ態勢をしっかりと作り、「声かけ・あいさつ」を基本に、住みよく明るい地域づくりを目指します。



◀ 六月燈は、住民交流の良い機会

編集たいむ

先日、伊集院総合運動公園では伊集院ドーム多目的広場サッカー場の落成式が行われ、多くの市民の方が詰め掛け完成を祝いました。▼いよいよスポーツの秋です。いやいや私にとっては「食欲の秋」。食材が一段とおいしくなる時季で、秋太郎やサンマ、サバ、茄子など考えただけでも「生ビール」ついでと声を出しそうです。でも、また体が重くなりそうです。心配?▼今月号のP16「健康情報」でも紹介されている「メタボリックシンドローム」は、肥満までにはいかないけど、ちよつとお腹がでてきた、中性脂肪や血圧、血糖値が少し高めな、これらの条件が重なった状態を言うそうです。運動不足や食生活など生活習慣に起因するとも言われ、診断基準の必須条件が腹部肥満男性でウエスト回り85センチ以上となっています。▼何を隠そう、私もこの「メタボ」予備軍の一人。今秋は、目標を立てて「食欲」でなく「スポーツ」が充実したものとなるよう取り組んでみたいと思います。日ごとに朝夕が涼しくなり過ぎやすくなってきました。この秋は皆さんも肥満防止やストレス解消などに私だけ?、ぜひスポーツを楽しんでみてはいかがでしょうか。

16 平成18年9月号

発行/日置市役所
総務企画部企画課
〒899 2592
日置市伊集院町郡一丁目100番地
TEL 099(273)2111
FAX 099(273)3063
東市来支所
TEL 099(274)2111
日吉支所
TEL 099(292)2111
吹上支所
TEL 099(296)2111
<http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>



古紙配合率100%再生紙を使用しています

災害犠牲者ゼロを目指して

日置市総合防災訓練を実施

「平成十八年九月三日、吹上浜沖を震源とする強い地震が発生、東市来で震度5強を観測した。一方、大気の状態が不安定となり豪雨、降り始めからの雨量が400mmに達するおそれ」

地震による家屋の倒壊や火災発生が相次ぎ、豪雨によるがけ崩れや堤防の決壊などへの警戒も必要な状況下。

そのとき、あなたはどのような行動を、いざという時の判断と行動が生死を分けることになるのです。

かつてない大地震と豪雨が、同時に日置市を襲うという想定で、九月三日、市総合防災訓練が東市来の江口浜海浜公園広場で行われ、関係機関十四団体が参加しました。

防災訓練は「情報伝達訓練」と、多数の家屋倒壊や崖崩れの発生、火災の多発、また帰港中の遊漁船が転覆し、乗組員が行方不明、さらに交通事故により負傷者が多数いるとの想定で、住民への避難誘導、消火訓練や救出訓練、炊飯支援訓練などの「実働訓練」に分けて実施されました。

実働訓練に参加したのは地元伊作田校区の住民約百五十人をはじめ、消防団や市消防本部など、

約三百人。住民らは、いざという時に安全で適切な行動がとれるように、それぞれの役割を確認しながら真剣に訓練に取り組み、また消防団や消防本部の訓練を見守りました。単なる訓練に終わらせることのないように、日頃からの危機管理が大切です。

参加機関

日置市、日置市消防団、日置市消防本部、串木野海上保安部、東市来・日吉救難所、江口漁業協同組合、鹿兒島県警察本部、串木野警察署、日置郡医師会、伊作田校区内十二自治会、伊作田保育園、日本赤十字社鹿兒島支部、日置市社会福祉協議会、社団法人日本自動車連盟



▲ 自主防災組織による初期消火訓練



▲ 地域住民をはじめ多くの機関が参加



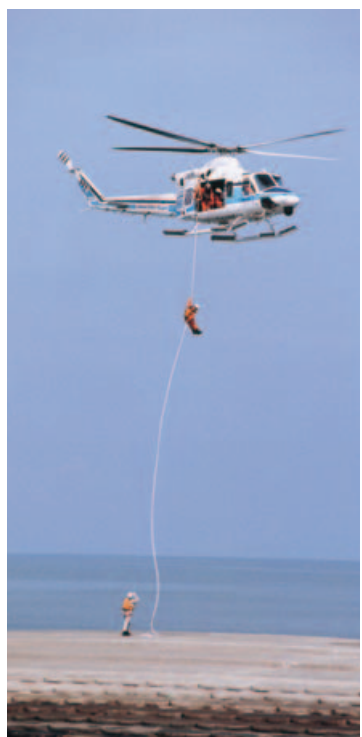
▲ 応急救護所を開設しての救護救急訓練



▲ 消防団、自主防災組織による水防訓練



▲ 上空からの映像をモニターで確認



▲ 海難救助訓練

一人ひとりの防災力を高める。七月中旬に発生した北薩地域の豪雨災害（平成十八年七月県北部豪雨災害）。県北部を中心に県内各地に被害をもたらしました。

台風の進路や大雨は気象情報などによりある程度までは予測できますが、災害にいたっては、いつ、どこでどのような形で起こるか予測できません。大地震の発生直後は、道路の損壊や家屋の倒壊などで、消防や警察がすぐに現場に駆けつけることが困難になります。そこで、求められるのが「自分たちの地域は自分たちで守る」という心構えと地域の防災力です。

人命第一、早めの避難

行政も市民も目指す防災は「災害犠牲者ゼロ」。そのためには、「早期避難」が必要です。市では災害時に備え、小学校や公民館など市内四十八カ所の施設を避難所に指定しています。（左表参照）

これらの避難所は、災害発生が予想される時に、必要に応じて開設します。いざというときに備え、日頃から家族で避難所や連絡方法などについて確認し、危険を感じた場合は隣近所に声を掛けて、早めの避難を心がけてください。



▲ 避難する住民を誘導

災害時の避難場所一覧

地区	避難所	電話番号
東市来地域	高山地区交流センター	274-9856
	東市来農業構造改善センター	274-3665
	東市来保健センター	274-2111
	東市来総合福祉センター	274-6565
	伊作田地区活性化センター	274-9870
	皆田小学校体育館	274-2152
	美山小学校体育館	274-2203
	上市来小学校体育館	274-9302
	鶴丸小学校体育館	274-2103
	湯田小学校体育館	274-2043
伊集院地域	伊作田小学校体育館	274-2718
	川原記念館	—
	日置市中央公民館	273-1919
	飯牟礼児童館	273-1632
	土橋児童館	273-9130
	伊集院北児童館	273-0769
	妙円寺児童館	272-4550
	伊集院地区公民館	273-0315
	伊集院武道館	—
	伊集院総合体育館	273-1033
伊集院小学校体育館	273-4852	
伊集院北小学校体育館	273-4858	
土橋小学校体育館	273-9331	
飯牟礼小学校体育館	273-2580	
妙円寺小学校体育館	273-1822	
伊集院中学校体育館	273-4851	
伊集院北中学校体育館	272-4996	
土橋中学校体育館	273-9230	
日吉地域	中区集会施設	—
	扇尾地区集会所	—
	日吉老人福祉センター	292-2321
	日吉中央公民館	292-2001
	山田公民館	—
	住吉小学校体育館	292-2022
	日吉総合体育館	292-2056
	吹上中央公民館	296-2124
	吹上勤労者体育センター	296-3074
	藤元地区公民館	296-2896
平鹿倉地区公民館	296-2889	
永吉地区体育館	297-2005	
吹上地域	坊野支部消防詰所	—
	吹上老人福祉センター	296-2394
	花田小学校	296-2149
	野首地区公民館	296-2127
	和田小学校	296-2134
	吹上地区公民館	296-2083
	永吉保育所	297-2559
	永吉小学校	297-2110
	吹上浜公園体育館	296-3077

※二次避難場所は、一次避難場所に対応できない場合に開設。

愛称「チェスト小鶴ドーム」に決定！



待望の健康づくり拠点施設完成

伊集院総合運動公園内 伊集院ドーム・多目的広場・サッカー場

伊集院総合運動公園に待望の多目的ドーム「伊集院ドーム」等が七月二十七日完成し、九月九日に落成式典が行われました。式典には、市民、関係者約百五十人が出席し、完成を祝いました。式典後、落成記念イベントとして、サッカー場では、「鹿児島実業高校」対「鹿児島城西高校」の交流試合、サッカー教室、サッカースポーツ少年団交流試合、伊集院ドームでは、「鹿児島ホワイエ」の野球教室が行われ、完成したばかりの施設の感触を確かめていました。

オープニングでは、ドーム前で市長らによるテープカット、地元サッカースポーツ少年団と野球チームによるくす玉開きが行われ、完成を祝いました。ドーム内で行われた式典では市長が「このような素晴らしい施設ができ、市民や各関係者に感謝したい。また、この施設を市民の憩いの場、健康づくりの拠点施設として活用してください」とあいさつ。

式典後、完成したばかりの施設で落成記念イベントが行われました。あいにくの曇り空となりましたが、会場にはたくさんの方が訪れ、それぞれイベントに参加していました。



▲ 鹿実、鹿城西の選手によるサッカー教室



▲ 鹿児島ホワイエの野球教室

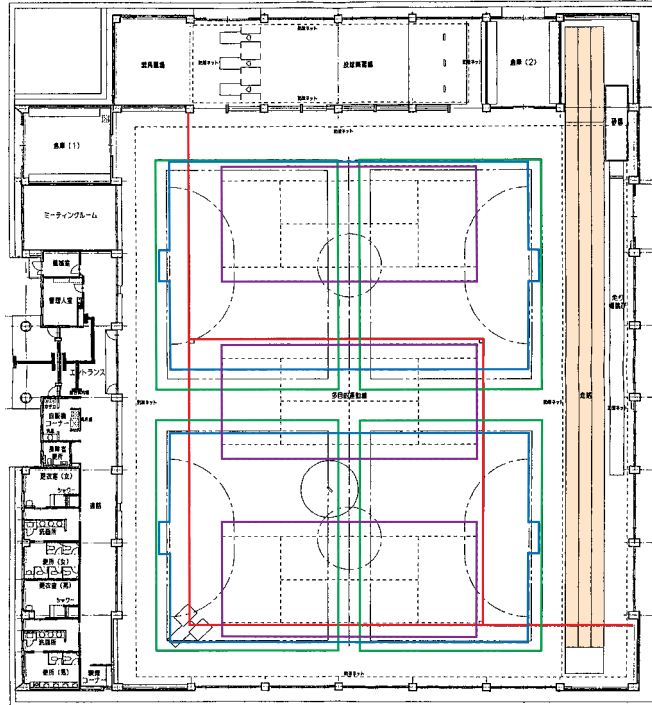


▲ 熱戦が繰り広げられた鹿実対鹿城西の交流試合



▲ くす玉開き

多目的運動場 平面図



— テニスコート — ゲートボール — フットサル
— 野球内野練習場 — 陸上50mレーン



▲ 陸上レーン



▲ 多目的運動場



▲ ミーティングルーム



▲ 投球練習場

日置市伊集院総合運動公園は、昭和五十八年に都市計画決定を受け、昭和六十一年に整備された都市公園で、公園内には陸上競技場、野球場、テニスコート等、市民の健康増進施設として利用されており、平成十七年度の利用者が約十万人。今年度の伊集院ドーム、サッカー場完成により、市のスポーツ活動・生涯学習活動の拠点となることが期待されます。
天候に左右されない多目的屋内運動場
伊集院ドームは、市民のスポーツレクリエーション活動の拠点づくりと生涯学習活動を推進

するため、平成十六年度から「まちづくり交付金健康増進施設整備事業」を導入し、平成十七年度から着工。延床面積約三千五百三十八㎡、総事業費約六億二百四十九万円で、テニスコート三面、ゲートボールコート四面、フットサルコート二面、野球練習場（内野と投球場）、陸上レーン（50m三レーン）、走り幅跳び（一レーン）弓道遠的にも対応した砂入り人工芝の多目的屋内運動施設となっています。
愛称「チェスト小鶴ドーム」に決定
市では、市民に親しまれるスポーツ活動や施設利用者の利便

性向上、利用促進等に市と一緒に取り組んでいただくネーミングライツ・スポンサー（愛称名権者）を募集。応募の中から「小正醸造株式会社」が選定され、十月から多目的ドームの愛称が「チェスト小鶴ドーム」となります。
これまで利用されていた陸上競技場、野球場、テニスコートと今回完成したサッカー場、多目的広場と合わせて「チェスト小鶴ドーム」も、「小正醸造株式会社」の協力を得ながら、市民が利用しやすい、親しみの持てる施設となるよう取り組んでいきます。

チェスト小鶴ドーム 使用料

多目的運動場 1時間使用につき

	アマチュアスポーツに使用する場合 児童又は生徒(高校生以下)		その他の場 合
	左記以外の者		
全面使用	720円	1,040円	2,520円
	1,890円※注		7,560円※注
フットサル(1面)	360円	520円	1,260円
テニス(1面)	240円	350円	840円
ゲートボール(1面)	180円	260円	630円

※注 使用者が入場料を徴収する場合

	児童又は生徒(高校生以下)		左記以外の者
投球練習場	310円	470円	
陸上練習場	専用使用	260円	520円
	個人使用	20円	50円
弓道	720円	1,040円	
ミーティングルーム	310円		

付属設備

放送施設	520円 (1回使用につき)
ピッチングマシン(1台)	200円 (1時間使用につき)
ミーティングルームの冷暖房装置	100円 (1時間使用につき)
持込器具による電気使用料	50円 (1キロワット1時間使用につき)

照明施設 1時間使用につき

多目的運動場	全面点灯	1,320円
	半分点灯	660円
野球用(全面点灯)		1,280円
フットサル用	1面	330円
テニス用	1面	330円
ゲートボール用	1面	160円
投球練習場		90円
陸上練習場		200円
弓道用		670円



▲ ALT研修会での様子

日置市の新しい外国語指導助手（ALT）としてイギリスのハレク出身のキンバリー・ヒューズさん、アメリカのシカゴ出身のロクサナ・モンドラゴンさん、同じくアメリカのシアトル出身のシャー・デービッドさんが着任しました。

八月二十四日には、ALT研修会があり、ALTの仕事内容などの説明や、打合せが行われました。

新しく着任した三人のALTは、子どもたちに英語を教えることや日置市の皆さんとの交流を楽しんでいます。市内で見かけたら気軽に声をかけてください。



吹上地域ALT
シャー・デービッド
Sher David さん

Hi everyone!
日置市に来ることができてとてもうれしいです。私は大島教育事務所に2年間、県教育委員会に1年間いました。ギターとカラオケが大好きです。
みなさんと話せることをとても楽しみにしています。
気軽に話しかけてくださいね!



伊集院地域ALT
ロクサナ・モンドラゴン
Roxana Mondragon さん

始めまして。私はロクサナです。アメリカのシカゴから来ました。私は22歳です。今年大学を卒業しました。1年間日本語を勉強しましたが、あまり上手ではありません。私はサッカーと旅行とダンスが大好きです。
日本は今回初めてですので、とても楽しみにしています。どうぞよろしく願います。



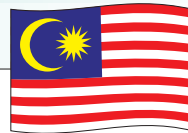
東市来地域ALT
キンバリー・ヒューズ
Kimberleigh Hughes さん

始めまして。私はキンバリーです。私は22歳で今年6月にカーディフ大学を卒業しました。フランス語と日本語の学位を取りました。趣味は読書と映画です。日本料理も好きです。この経験を楽しみにしています。もしかすると鹿児島弁を習うことができるかもしれません。どうぞよろしく願います。



ザカリヤ・ムスタファ
Zakaria Mustafa さん

【吹上地域 CIR】



こんにちは、みなさん。私はマレーシアから来た国際交流員のZakaria Mustafa(ザカリヤ・ムスタファ)と申します。去年の8月から国際交流員として吹上支所地域振興課自治振興係に配属されています。主な仕事はマレーシアを通じて市民の国際理解を深めながら、国際交流事業を進めることです。吹上地域は自分の生まれた所と似ているため、ここに住むのは大好きです。

国際交流員の仕事は特定の仕事というより、人間関係、つまり個人と個人の間を大事にしなければなりません。市民と直接会話したり、交流したりすることによって、ますます仕事を楽しめます。

みんながすくなくやさしくて、協力的なおかげで、いろいろな文化交流を成功させることができ、それが一番感動を与えられることです。

国際交流員としてまだ一年目ですが、個人的にはすでに10年以上も日本に滞在しています。日本は初めての海外経験でしたが、自分の第二の故郷にもなっています。自分は日本から学んだことがたくさんあります。日本はとてもユニークで素晴らしい国です。そのことをもっとマレーシアの人々に伝えたいです。

これから2年目の国際交流員として、日本とマレーシアの架け橋の役割を果たすことができることをとても光栄に思います。今までの交流を大事にしながら、みなさんの指導、助言、協力のもとで、同じアジアの国々の仲間として、いつまでも平和を願いながら、友達であり続けたいと考えています。

これからもよろしく願います。



70歳以上で医療を受けらるみはさまへ

平成18年
10月から

医療保険制度が改正され、 医療費の自己負担などが変わります

ポイント 現役並み所得者の自己負担割合が変わります

現役並み所得者の自己負担割合が2割から3割に引き上げられます。現役並み所得者以外は1割のまま据え置かれます。

平成18年9月30日まで		平成18年10月1日から	
現役並み所得者	2割	現役並み所得者	3割
一般、低所得	1割	一般、低所得	1割

ポイント 医療費の自己負担限度額が引き上げられます

1ヶ月間の医療費の自己負担が高額になった場合、自己負担限度額を超えた分が高額医療費として支給されます。その自己負担限度額が、低所得者に配慮しつつ、一部引き上げられます。

平成18年9月30日まで			平成18年10月1日から		
自己負担限度額(月額)	自己負担限度額(月額)		自己負担限度額(月額)	自己負担限度額(月額)	
	外来 (個人単位)	外来+入院 (世帯単位)		外来 (個人単位)	外来+入院 (世帯単位)
現役並み所得者	40,200円	72,300円 (医療費が361,500円を超えたときは、超えた分の1%を加算) (4回目以降の場合40,200円)	44,400円	80,100円 (医療費が267,000円を超えたときは、超えた分の1%を加算) (4回目以降の場合44,400円)	
一般	12,000円	40,200円	12,000円	44,400円	
低所得	8,000円	24,600円	8,000円	24,600円	
低所得		15,000円		15,000円	

【現役並み所得者とは】 同一世帯の中に一定以上の所得（課税所得145万円以上）がある70歳以上の一般国保対象者および老人保健対象者のいる人。（70歳以上の年収が夫婦二人世帯＝520万円未満、単身者＝383万円未満の場合は、申請により1割負担になります。）

【一般とは】 現役並み所得者、低所得Ⅰ、Ⅱのどれにもあてはまらない人。

【低所得Ⅱとは】 同一世帯の世帯主および国保被保険者（老人保健で医療を受ける人の場合は世帯の全員）が住民税非課税の人（低所得Ⅰ以外の人）にあたります。

【低所得Ⅰとは】 同一世帯の世帯主および国保被保険者（老人保健で医療を受ける人の場合は世帯の全員）が住民税非課税で、その世帯の各所得が必要経費・控除（年金の所得は控除額を80万円として計算）を差し引いたときに0円となる人にあたります。

【お問い合わせ先】 日置市役所(国保老人保健係)...本庁(内線1133) 東市来支所(内線2133) 日吉支所(内線3133) 吹上支所(内線4133)

ハイメカAチームが、香港旅行(3泊4日)を獲得！ 国際サンドアートフェスティバル

八月六日、夏本番の江口浜海浜公園で、国際サンドアートフェスティバル2006が開催され、市内を始め遠くは三重県津市から、三十二チーム、百四十二人の参加がありました。

また、同会場では貝堀大会も行われ、大会を盛り上げました。各受賞チームは次のとおりです。

- 【こけけ国王賞】ハイメカAチーム(東市来)
- 【第一位】伊集院町商工会青年部
- 【第三位】CRAFTSMAN(いちき串木野市)
- 【青年部賞】熱烈歓迎「東市来」
- 【女性部賞】トクハードA(いちき串木野市)
- 【エゴ賞】(南日本新聞社賞) 萱沼JAPAN(東市来)
- 【商工会賞】吹上町商工会青年部



▲ 貝堀を楽しむ家族連れ ▲ 優勝を喜ぶハイメカAチーム



▲ 香港チーム(イエン団長=右から1人目)と完成作品

サンドアートに華を添えた 香港代表砂像チーム

今年も香港(香港特別行政区・康樂及文化事務署)から砂像チーム(イエン・イエット・ノー代表以下六人)を特別ゲストとして迎え、サンドアート大会では、砂質が違う中にも香港大会の優勝チームらしい精細で高度な技術が披露され、大会に華を添えました。

砂像チーム一行は、八月四日から七日までの三泊四日日本に滞在し、大会への参加や大会関係者との交流会、市内外の観光施設見学等を行いました。

この香港砂像チームを派遣する香港康樂及文化事務署との相互交流は、旧東市来町との間で互いの砂像大会を通じ、平成元年から続けられてきています。

夏キムチで、夏バテ解消！

夏キムチ作り講座を開講

七月二十八日と二十九日の両日、伊作田活性化センターで、夏キムチ作り講座を開講し、二日間で二十三人の参加がありました。

講師は、市国際交流員の金信愛さん。夏キムチのカクトウギは、角切りした大根に粉唐辛子で色を付け、アミの塩辛、にんにく、にらを混ぜ、薬味を入れて完成。

伊集院地域から参加した西尾光子さんは「昨年の冬キムチ作りに参加しました。夏キムチ作りは初めてなので、とても楽しかったです」と話していました。



▲ 講師の金さん(右)



たわわに実った甘いぶどうはいかが？

東市来観光ぶどう農園オープン



七月二十八日、梅木自治会の重水賢治ぶどう農園で、観光ぶどう農園開園式が行われ、田代保育園の園児や行政関係者が出席し、開園を祝いました。

式では、園児らによるはさみ入れのあと、東市来観光ぶどう研究会長の大庭正一さんが「今年の梅雨は長引きましたが、例年どおり、甘くておいしいぶどうができました。たくさんの方が来園して欲しいです」と、あいさつ。園児らは、大きくて甘いぶどうの粒を、口一杯にほおばっていました。



伊作田チームが初優勝 県老人クラブラウンドゴルフ大会

七月十九日、県立鴨池補助競技場で、第十回鹿児島県老人クラブラウンドゴルフ大会が開催され、県内十二地区の代表六十四チーム(三百八十人)が、参加しました。

日置地区代表の東市来伊作田チームは、予選から決勝まで九回のホールインワンを出すなど、安定したチームワークで初の栄冠に輝きました。

山り 暑さを吹き飛ばす 美夏祭 生バンド演奏！

八月六日の夕方、美山の元外相東郷茂徳記念館前広場で、第二十三回美山校区夏祭りが開催され、校区内外から多くの人が出でにぎわいました。

ステージでは、美山保育園や美山校区婦人部による踊り、生バンド演奏などが行われました。



湯の街に、揺れる灯ろう蔵かに！ とうろこ祭り&飲食店組合夏祭り

七月二十九日、東市来町商工会館前の広場で、元湯之元温泉と元会主催による「湯之元温泉とうろこ祭り」が、七月三十日には同広場で、東市来町飲食店組合主催による「夏祭り」が開催され、湯之元温泉街を五百個の灯ろうが盛大に行われました。

が照らす中、市内外から家族連れなど大勢の人が訪れました。

また、ステージでは、灯ろうの審査発表やちびっこスイカ早食い競争、吉留道場による五つ太鼓演奏、カラオケ大会などが盛大に行われました。



今夏も熱く燃えた 『夏祭り & 伝統行事』

真夏の太陽の下、伝統の踊りを引き継ぐ 皆田太鼓踊り

猛暑の続く八月六日、皆田地区で家内安全と豊作を祈願する「皆田太鼓踊り」が、二年ぶりに奉納されました。

踊り子連は、島津忠良公の家臣であった田尻荒兵衛などを祭つた大庭神社や皆田小学校など地区内7か所で、踊りを披露。

汗だくになりながらも、観覧者から大きな拍手が送られました。



山り 北火振 勇壮な炎で、精霊を送る

八月十五日のお盆の日、北山自治会の北山墓地で、「北山の火振り」(市無形民俗文化財)が行われ、地域住民や帰省客など大勢の人が観覧しました。

この行事は、五、六mの真竹の先に松明をくりつけ、これに火を付けて南北に振り、無縁仏(浮精霊)を送るもので、竹を振り炎が弧を描き夜空を焦がすと、観客から大きな歓声が上がっていました。





一日新聞記者、日置市を取材

南日本こども新聞記者

七月二十六日、南日本こども新聞（南日本新聞社主催）の一日新聞記者として、村末大輔くん（妙円寺小学校五年）が宮路市長を訪ね、「日置市」について取材を行いました。この「南日本こども新聞」は、社会科勉強と夏休みの楽しい思い出作りをかねて、毎年県内の小学五・六年生を対象に行っているもの。取材では、宮路市長を前にやや緊張しながらも「なぜ合併したんですか？」「合併して良かったことや困ったことは？」と質問。時間が経つにつれ、緊張が和らいでくると「これからの日置市がどうなればよいか？」など、一日記者として立派に取材をしていました。三十分余りの取材を終えた村末くんは、「市長が大きかった。取材はとても楽しくできた」と、一日記者の役目を終えてほっとした様子でした。



路護 道愛

地域の活動が認められ表彰

道路愛護に功績のあった団体として田代東自治会（会長田渕和徳さん）と妙円寺一・四区自治会（会長松元邦弘さん）が八月十六日、道路愛護表彰知事表彰を受けました。田代東自治会では、昭和十二年から市道の草払いやごみ拾い、側溝清掃などを実施。妙円寺一・四区自治会では昭和五十四年から二カ月に一回、団地内の各世帯が協力し、市道の清掃作業を実施するなど、自主的な活動に取り組んでいます。

待望の公民館が完成

中福良自治会



中福良公民館が八月二十日完成し、八月二十七日に落成記念式が行われました。同自治会では、昨年四月から建設委員会を結成し、資金計画や建築計画を進め、今年四月から着工。建設費は約千三百五十万円。市からの補助金のほか、たくさんの方々が住民から寄せられました。奥祐義自治会長は「新しい公民館ができて嬉しい。これから地域の融和、協力態勢をつくるためにも住民と共に活用していきたい」と話していました。



郷里に油彩五十八点寄贈

前畑省三氏絵画作品贈呈式

南日本美術展の第一回パリ賞を受賞した独立美術協会会員の画家前畑省三さんが、戦時中に疎開し学生時代を過ごした日置市に、代表作五十八点を寄贈し、八月十一日、伊集院文化会館で贈呈式が行われました。鹿兒島市に生まれた前畑さんは、父の死去に伴い、母方の故郷の旧伊集院町飯牟礼に疎開。飯牟礼小学校に編入後、伊集院中学校、伊集院高校へ進学。「伊集院での出会いが画家の原点になった」と、前畑さんは当時を振り返ります。作品は、一九六〇年から七〇年代の「地層」「ボラの人」「すわる」から八〇年代以降の「神女誕生」シリーズまで、南日本美術展や独立展に出展した100号を超える大作がほとんど。贈呈式で宮路市長は「多くの人の目に触れるよう、学校や生涯学習の場などへ展示し、大切にしていきたい」とあいさつ。この作品は、伊集院文化会館の収蔵庫に保管されます。

郷土の歌を軽快に暗唱

妙円寺詣りの歌暗唱大会

地域に根付いている郷土の歌でもある「妙円寺詣りの歌」の暗唱大会が八月二十一日に行われました。これは22番まである同歌を覚えることで郷土に関心を持つてもらおうと、伊集院の小学生を対象に行われている恒例行事。全校区で開催された大会に三百六十六人が参加。月色コース（22番まで）五十二人、烏頭坂コース（15番まで）三十九人、団体（22番まで）は九十一団体が完唱。今年で月色コース三回完唱の伊集院北小五年の今田彩稀さんは途中で間違えそうになっ



たけど、完唱できてうれしい」と満足そうでした。

宝くじ助成で音響設備購入

郡上自治会

宝くじの事業収入を利用した「平成十八年度コミュニティ助成事業」で伊集院町郡上自治会が音響設備一式を購入しました。夏祭りや敬老会、運動会など

さまざまな自治会行事等に活用されます。宝くじの収益金は、このように還元され、地域づくりに役立っています。

宝くじは豊かさ築くチカラ持ち。



ボランティアで地域に貢献

管工事組合

市内の水道専門業者でつくる日置市管工事組合（29社加盟・会長、松尾悦朗さん）の皆さんが八月四日、奉仕作業を行いました。これは、同組合が日頃お世話になっている地域の方々に恩返しをしようと毎年計画されているもので、今年は各地域の業者がそれぞれ四地域の配水池や水源地の清掃、草刈作業を行いました。伊集院地域では、各社二人以上が参加し、飯牟礼水源池や妙円寺配水池などを半日かけて奉仕作業。夏の日差しが照りつける中作業をしていただきました。同組合ではこのほか技術研修にも定期的に取り組み、地域に貢献できる活動を進めています。



暑さも忘れてにぎやかに

八月十六日、今年で十七回目を迎える土橋地区夏祭り花火大会が土橋中学校運動場で行われ、たくさんの方が訪れました。

会場には野外特設ステージが設置され、同地区児童による合唱、カラオケ大会、舞踊などが行われ、会場を盛り上げ、本部テント前のかき氷と綿菓子コーナーには子どもたちの長い列が…。最後は土橋音頭総踊り。同地区伝統の踊りを全員で踊り、終始にぎわいをみせていました。フィナーレの花火大会は、運動場の真上に上がる花火に、会場からは大きなどよめきと歓声が沸きあがりました。

土橋地区夏祭り花火大会



かき氷と綿菓子コーナーは子どもたちに大人気

同地区児童による合唱

地協立

メテック九州株が工場増設
雇用促進など地域活性化に期待!

八月七日、日置の天神ヶ尾に操業する電子部品製造メーカー「メテック九州株」(北村隆幸社長)が、自動車部品などの受注増に対応する工場を敷地内に増設することになり、立地協定式が中央公民館で行われ、県産業立地課の平田浩和課長立会いのもと、宮路市長と北村社長(写真 左から二人目)との間で協定が締結されました。式の中で、北村社長は「この日置工場は、進出から四十年近い技術力の蓄積がある。さらに品質向上を目指したい」と、話されました。今回の工場増設に係る投資総額は約三億円で、建物面積は約九百平方メートル。本年十一月には着工し、平成十九年二月に操業開始、新たに十一人の雇用が予定されます。



▲発展を誓い握手する関係者ら

子ガメ放

砂の感触、波の音を忘れないで帰ってきてね!
南区子ども会

八月二十日、吉利の冷水海岸で産卵ふ化した子ガメ約四十四匹の放流を南区子ども会約八十人が体験しました。

今回放流した子ガメは、ウミガメ保護監視員を長年務める松田清市さん(77歳・南区自治会)が、パトロール中にウミガメ産卵を確認し、自宅近くのふ化場で大切に見守ってきたもので七月一日に産卵され、ふ化した子ガメです。



▶放流した子ガメを温かく見送る

前に、子ども達にウミガメの生態などについて説明。ウミガメが生まれた場所産卵することや今年上陸を確認したウミガメは三十四匹で、大きく育つ確立が五千分の一だということを知った子ども達は、「無事に、大きくなって帰ってきてね!」などと声をかけながら東シナ海に向かう子ガメを見送っていました。



▶子ガメを手に大きさを実感

夏の青空に矢旗が舞い
鉦と太鼓が鳴り響く!

八月十九日と八月二十七日の両日、各地で色鮮やかな矢旗と軽やかなカネ、力強い太鼓が鳴り響く、恒例の太鼓踊りが行われました。

この伝統を引き継ぐため、一か月前から準備に取り掛かり、奉納日が近づくと、踊り子も毎晩のように練習に励みます。

本番当日は、家族の応援も手伝い、それぞれ堂々として息のあった踊りを奉納。公民館や各施設など地域内外で披露することができ、毎年楽しみにしている方々に思い出と感動を届けました。

諏訪太鼓踊り

今年の踊り手は、カネ(三人)、小太鼓(小学一・三年生の二人)、平太鼓(十一人)の合計十八人。八月二十七日、諏訪神社へ奉納した後、各地域で踊りを披露しました。



▲諏訪太鼓踊り

八幡太鼓踊り

今年の踊り手は、カネ(四人)、小太鼓(小学二・三・四・五年生の四人)、平太鼓(十四人)の合計二十二人。八月二十七日、諏訪神社と八幡神社へ奉納し、各地域や東市来にある光の海などで踊りを披露しました。



▲八幡太鼓踊り

南区太鼓踊り

吉利地区は、南区・中区・北区の三自治公民館が輪番制で踊りを披露しています。今年、南区の当番として八月十九日に池王神社と南方神社、吉利神社で奉納されました。

踊り手は、カネ(四人)、小太鼓(小学三・四・五年生各一人と六年生二人の計五人)、平太鼓(二十四人)の合計三十三人。各地域で踊りを披露しました。

今回、平太鼓の踊り手として初参加した迫亮治さんの長男剣翔くん(四歳)が、お父さんの真似をして、白装束に鉢巻、即席の太鼓に背中には矢旗を二本立て、カネの音に合わせ元気よく踊りを披露。観客から「かわいね。上手だね」と声援を受けていました。



▲お父さん(右から1人目)の横で踊る剣翔くん(中央)

安全運転に心がけて

ミニバイク・電動カー講習会

八月二十六日、交通安全母の会主催によるミニバイク・電動カーの安全運転講習会が、日吉運動公園で開催され、地元住民など約六十人が参加しました。参加者は、地元で二輪車販売業を営む田代幸次さん、上之園保さん、鳩野好弘さんらの指導のもと、信号交差点での右折や一時停止、一本橋、S字走行など設定されたコースに挑戦して



▶実際に運転し指導を受ける参加者(写真上)。電動カー(写真下左)。ミニバイク(写真下右)。

いました。講習を終えたあと、伊集院警察署の當房交通課長から「乗車時に体に力が入りすぎていると緊急時の対処が遅れます。運転はなるべくリラックスして」と講評を受け、改めて正しい交通ルールを再確認しました。また、今回は講習の空いた時間を活用して健康チェック(血圧測定)も実施されました。



▲空き時間で健康チェック

吉利交差点

『より安全に』

道路改良工事が始まる

国道二七〇号と県道三七号が交わる「吉利交差点」の特殊改良工事が、先月から着工しました。完成は、平成二十二年三月の予定です。

「吉利交差点」は、昭和四十六年頃の国道改良工事により現在の姿となり、信号機が設置されたのは昭和五十年。これまで上下線ともに急カーブで橋の欄干に衝突したり、ガードレールを突き抜けて土手下へ落ちたりするなど事故が多く、地域住民からも道路改良を強く望む声がかかっています。



▲改良が始まった吉利交差点

扇尾地区

不通話地域解消!

携帯電話基地局が完成

扇尾地区に平成十七年度から無線システム普及事業(総事業費八百三十九万三千円、うち過疎債八百三十万円、一般財源九万三千元)を導入して建設を進めていたNTTドコモの携帯電話扇尾基地局が完成し、通信サービス(FOMAプラスエリアII使用機種が限定)が始まりました。

域住民の強い要望によりNTTドコモ九州が扇尾地区のエリア整備の事業実施決定をして実現したものです。



▶開局した扇尾基地局

岐阜 上石津 交流で紡ぐ歴史の絆

友好都市、岐阜県上石津町（現大垣市上石津地域）の青少年交流団十人（男女各五人）が八月二日から来訪。五泊六日間、海のまち吹上でさまざまな体験を通して、交流を深めました。

日置市となって初めての交流団受入。美山や妙円寺など、史跡見学エリアも広がりました。団員は上石津の地を踏んだ島津豊久公や義弘公ゆかりの史跡に大きくうなずいていました。

そば打ち、木工、塩たき、ウミガメパトロール。地元の人に教わった体験では、吹上の熱い人情を感じました。

二泊三日のホームステイでは、吹上の



▲ えびす神社のみこし隊も体験。商店街から力水をかけてもらいました

▼ ゲームで交流を深める佐土原と永吉小の児童

家族に「うちの子になって」といわれるほど心を通わせ「必ず帰ってきます」と約束していました。

また、そば打ちでは、「なんでも体験」で来訪した宮崎県佐土原町（現宮崎市佐土原地域）の団員三十六人とも合流。佐土原の団員は、地引網体験などのほか、永吉小児童とも交流。自己紹介やいろはカルタで、友情を深めました。

島津豊久公の残した歴史の絆は、交流によって紡がれています。

▼ 天昌寺跡の豊久公の墓前で未永い交流を誓いました



Terima Kasih! サイドさん送別交流会

En Syed.

サイドさん、ありがとう!!



▲ 最後まで笑顔で。二百人のアーチをくぐって一人ひとり握手

四年間、地域の国際理解の推進に尽力されたサイド・サレィさんの送別交流会が八月十日、永吉地区体育館で開かれました。会には旧吹上町の初代国際交流員として、小学校専属ALTとして、多方面での活躍を反映して、二百人が詰め掛けました。

「今日はお別れではなく始まり。だから涙はいりません」とサイドさん。参加者一人ひとりに笑顔で語りかけていました。最後は来日直後から取り組んでいた太鼓も披露。青松太鼓と一緒にバチを振りました。「サイドさん再度会いましょう」

大きくなって帰ってきてね

子ガメ放流会



入来浜で八月十五日、子ガメ放流が行われ、親子連れ約二百五十人が参加しました。

この子ガメは六月中旬、花田、伊作両小学校のふ化場に埋め育ったアカウミガメの卵がふ化したもので、花田小が四十四、伊作小が五十匹ふ化しました。

参加した子どもは、ウミガメの生態や触り方を聞いた後、海岸へ移動。「カメダコウキ」「カメタロウ」と思い思いの名前を付けて、そつと水際へと放し「大きくくなって帰ってきてね」と愛しげに見送りました。

ご存知ですか「まちの駅」

伊作えびす家



▲ 8月12日にはお祭りにあわせて夜間営業もしました

古民家を再生し本町通りに昨年十月オープンした「伊作えびす家」。小物や和菓子の販売はもとより、休憩所を設け、買い物ついでに立ち寄れる場所として利用されています。

この四月からは「まちの駅」として認定を受け、人や地域情報の交流拠点としての機能充実にも取り組んでいます。

あなたの持つ情報が、人の交流に役立つかもしれません。お気軽に足をお運びください。

伝統背負い振る矢旗

伊作太鼓踊り



伊作太鼓踊り（県無形民族文化財）が八月二十八日、小牧の南方神社に奉納されました。奉納は六つの保存会が輪番で行っており、今年には花熟里保存会が八年ぶりの当番。同保存会では、中打ちの小中学生四人の指導に数カ月前から取り組み、春先から平打ちも合流、奉納日までひたすら練習を積み重ねました。

観覧者で埋まった南方神社境内。中打ちの澄んだ鉦の音に合せ、平打ち二十四人の太鼓と息づかいが杜に響き渡りました。中打ちを中心に円陣に配した平打ちが勇壮に六尺（約一八〇センチ）の矢旗を振る様は、六百年の伝統



をつなぐ地域の心意気の様子でした。

保存会初の女性として中打ちを務めた榊芽衣さん（花田小六年）は「疲れたけど奉納できてよかった」と安堵の表情を見せました。

がんばっています。青年団

吹上町納涼夏祭り

吹上町青年団連絡協議会（川崎信会長）が主催して、第三十二回吹上町納涼夏祭りが八月十二日、開かれました。

団員が減少し続ける中で数人が連日、準備に奔走。その熱意に高校生らが応え、当日は多くのスタッフが祭りを支えました。

輪踊りには、そよいのハッピーをまとった団体が多数参加。ステージの熱演ともあいまって、吹上の暑い一夜に、老若男女が盛り上がりました。



吹上浜公園相撲場で行われ、九州各県の代表が全国大会を目指して、熱戦を繰り広げました。吹上中も地元枠で団体戦に出場しました。

8/11 九州中学生相撲競技大会

8/12 沿岸防犯協力会啓発活動

消防や漁業関係者などが所属する加世田署沿岸防犯協力会が、28年前に起きた拉致事件を風化させまいと、情報提供を呼び掛けました。





ギョウワロー 私の作品展 「折り紙」

本田 レイ子さん(71歳) 吹上町永吉

小さい頃から慣れ親しんでいる折り紙。5年前から折り紙教室で活動し、月1回の教室を講師と20人の講座生と楽しく取り組んでいます。教室では年間計画を立て、季節に合った折り紙を制作。出来上がった作品を家に飾ったりしています。今では、孫や地域の子どもたちと一緒に作ることも。これからは、折り紙を通じて子どもたちとふれあえるようにしたいですね。



ウカツ まちの文化財 16

有馬新七の墓碑(伊集院地域)

幕末の志士として有名な有馬新七は文政8年(1825)に伊集院で生まれました。新七の墓は下谷口の伊集院幼稚園のとなりにあります。

新七の家は伊集院の郷士でしたが、新七が幼少のときに鹿児島城下に移り、城下士になりました。新七は幼い頃から漢学や国学などの学問に励み、天保14年(1843)に藩の留学生に選ばれて江戸に派遣されました。江戸でも高い評価をうけ、江戸藩邸で講義を行うようになりました。

嘉永6年(1853)にペリーが浦賀に来航します。その前後にも、外国船が日本にやって来て様々な要求をするようになり、国内が混乱してきました。こうした情勢のなか、幕府を倒して天皇中心の国を造り、外国人を追い払おうとする思想「尊皇攘夷」が盛んになりました。新七は「尊皇攘夷」運動の薩摩における中心になりました。

新七と尊皇攘夷派の仲間達は、文久2年(1862)4月に京都の寺田屋に集まり、幕府と戦いを始める準備をしていました。そこに、薩摩藩の武士8名が藩上層部の命令で止めに来ました。しかし、新七らは説得に応じず斬り合いになり、新七と他7名が死亡しました。有名な寺田屋事件です。

新七の墓は、現在の鹿児島市の南林寺に建てられましたが、南林寺墓地の撤去により、昭和47年に伊集院に移転しました。



引用参考文献 『伊集院町誌』伊集院町

Access
本庁から
車で10分



ゆめ & チャレンジ

立派な仕事人

日新小学校六年 山口 早人くん

ほとくの将来の夢は、電気関係の仕事に就くことです。これは、お父さんの姿を見て決めました。仕事から汗びっしょりになって帰ってくるお父さんを見ると「きつと、疲れているんだろなあ。」と思います。でも、お父さんの仕事の手伝いをするとても楽しいです。そのときには、いろんな道具の名前や使い方を教えてくれます。電気工事や修理には、たくさん道具が必要なのが分かりました。ほくは、新しい道具のことを知るたびに、わくわくしてきます。いつかは、お父さんといっしょの仕事場で働きたいです。そして、地域の人のために役に立てる立派な仕事人になりたいです。

いきいき ひと

シリーズ⑩



前田さんは、家業を継ぐため四年間修行し帰郷、父貢さんとともに菓子作りに励んでいます。伝統の味を受け継ぐ中で、新しい菓子作りにも努め、海亀の甲羅に似ていることから名付けられた「海亀んせな」は、県海亀保護条例による活動の一環として商工会青年部の海亀パトロールが始まった頃に生まれたアーモンドのせんべいです。その後、毎年のように海亀や吹上浜にせつべとべなど地域の自然や行事をテーマに、素材の良さを生かし、お客様に喜んでいただける店の味が出せるよう努めています。

また、前田さんは、菓子職人とは別に、アンティーク小物や古いレコード(特に蓄音機関係)などのコレクターとしても県内外にも知られ、店のインテリアとしてだけでなく、お客様の要望があれば蓄音機で実際に懐かしい音を聴かせてくださいます。店内には、明治・大正時代の蓄音機やSP盤のレコードが大切に保管陳列され、お店の雰囲気にも味があります。たくさんレコードの中には、「ここなら大切にしてくれるから」とお客様からいただいたものも多数あるとか。「お菓子も音楽も、心を豊かにしてくれる。という共通点があります」と、前田さん。

この蓄音機を生かして、これまでも地元で蓄音機コンサートを行っています。これが、これからは「地域高齢者の方を対象にした蓄音機の出張コンサートを開き、当時の懐メロや童謡、映画音楽などで楽しんでいただき元気づけたい。ご依頼を待っています。」と笑顔で話されます。古いものを大切にしながら新しいものにチャレンジをモットーにする前田さんの活躍が期待されます。

お菓子作りと音楽を通じ、地域に貢献したい!



前田 晋作さん [41歳]

まへだ しんさく
日吉町日置(熊野自治会)

平成12年に、三代目(父・貢さん)から創業明治24年の伝統を誇る「御菓子司 前田家」を継ぎ、現在、4代目として活躍。
趣味は、アンティークの収集。特に蓄音機関連では、収集の噂を聞き県外からも来店される。



紙屋 琉くん(3歳1ヶ月)

父 修一さん 母 幸子さん
(伊集院町下神殿)

■おとうさん・おかあさんから
元気いっぱいにあいさつができる子どもになってください。



徳重 夏輝くん(2歳3ヶ月)

父 将幸さん 母 歩さん
(伊集院町郡)

■おとうさん・おかあさんから
健康で、元気に育ってほしい。



元気のあるお子さんの写真を募集しています。
市内に在住の6歳以下のお子さん
氏名 生年月日 保護者氏名 お子さんの近況・お子さんへのコメント 広報へのご意見
連絡先を添えて、市役所総務企画部企画課住所係までお送りください。
●今月は、国際サントアートフェスティバル会場で見つけたお子さんです。